

# 打感がダイレクトに手に伝わる 精度の高い設計



朝日ゴルフ

## 「TOUCH」「RELEASE」「RENAISSANCE」「ANCHOR」 KRONOS Golf



クラブ名	ロフト	ライ	バランス	ヘッド重量	頭部重
ANCHOR	30°	74.0	-1.0	360	113.0
RENAISSANCE	30°	70.0	-0.5	360	113.0
RELEASE	30°	70.0	-0.5	360	113.0
TOUCH	30°	70.0	-0.5	360	113.0

KRONOS4モデルの特徴

**TOSHIS  
impression**

■「TOUCH」(タッチ) 34-inch  
6万2000円

**トシさん** 他社にはないユニークな握りの「TOUCH」。ライで超ソフトな打感を追求したクロノスのアイストラウドモデル。一般的なアンサート型に比べドップブレードの厚みを増している。またハングフェースはよく戻されたキャビティ構造のため打感が手に良く伝わりさらにフェースのミーリングの深さも感じることができます。

一般的なアンサート型は、もう少しオフセットがありますが、「TOUCH」は、シャフトセンターとボトルの軸が一致するよりもやさしさがこちらの方が勝る印象です。

ボトルの軸が一致するよりもやさしい印象です。そこで、このボトルの軸が一致する組合せが、より良い打感になります。また、上がった特殊な形状で、さらにドップブリンクがラップします。また、冒頭に紹介した「TOUCH」とは違って、キャビティセンターでヒットするよう、サイドに穴を開けて重量調整。ペンドルの中心に重心がなく、バタバタに仕上がりで打つ

「ANCHOR」は完全にセンターロークしてみて、ハンドが開閉しやすくしないので、真っ直ぐに動くイメージです。ですので、フットストローク「テクニクション」をありふれて使うゴルフアームミート。また、スクが可能で、オフセットの大きいバターよりもインパクトのタイミングが早くなりやすい傾向がある。つまり自分で操作しやすい(球をつかまえやすい)バターという立場になります。

とにかく打感の良いバターが欲しい方にお勧め。重心角は70度と大き目の設定ですから、打ち方としては、フェースロー・デリモンを使う方に向いています。

■「RENAISSANCE」 34inch、6万2000円

■「ANCHOR」(アンカ) 34inch

■「ANCHOR」は、青木功プロが要用していないところマスクなストロークで安定感をもたらすモデルです。特徴は次の3点に集約されるでしょう。1.ネック形状が一般的なアンサート型よりも茎に細い。2.ネックの重量を落として重心の位置を下げる狙いがあつたと思われる。(2)ペール側に穴を開けて重量調整。ペンドルの中心に重心がなく、バタバタに仕上がりで打つ

「ANCHOR」は完全にセンターロークでも、打つ必要があります。でもシャフトのキャッシュティングといえども打つ必要があります。でも打てるのが特徴です。そして、このバターの一番の特徴は、フェースバランスもドッパングもない全方位バランスの説明です。ローテーションをしないで打つてみたいのか、どんな打ち方をしても対応してくれるのです。実際にタップ式や、フェースロード軌道でロフトを出して打つてみて、テクニクションをしないで打つてみましたか、確かにどちらでも打てる打感も良く、ハンドファーストにして上から演じたり、アッパー軌道でロフトを出して打つても、球の軌跡は良い。ワード重のあるキャッシュティングをお探しの方に朗報。

アドレスからの見た目で、重さの感覚をつかまえやすいバターという立場になります。

アドレスからの見た目で、重さの感覚をつかまえやすいバターという立場になります。

■「ANCHOR」(アンカ) 34inch